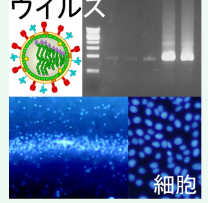
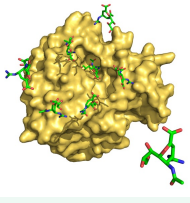
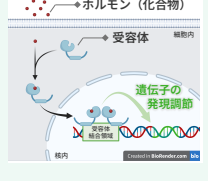
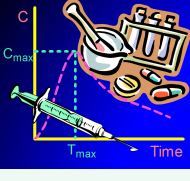
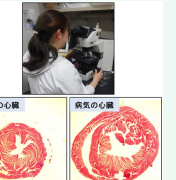
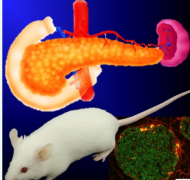


静岡県立大学薬学部

夏休みファーマカレッジ 2025

体験してみよう！「くすりを科学する薬学の魅力」

人が健康に過ごすには、病気を治療・予防する薬が欠かせません。病気に効果のある化学物質を探索する方法や薬を安定的に供給する化学合成法を開発する必要があります。また、薬の化学構造や剤形の改良も治療効果の高い薬を作るには有効です。さらに、からだの仕組みやからだの中の分子の動きを調べることは、病気の原因を探るうえで重要であり、新たな薬の発見につながります。最近では、遺伝子検査から体質や病気のリスクを知ることができ、病気の予防に役立っています。夏休みファーマカレッジ2025に参加して、最新の知識と技術に触れながら、「くすりを科学する薬学の魅力」を体験してみませんか？

	iPS細胞で心臓の働きを調べてみよう！ 心臓は死ぬまで動き続ける働き者の臓器です。iPS細胞を使って心臓に対するくすりの作用を調べてみよう。		遺伝子を見てみよう！ 病気や薬の研究では遺伝子についてしらべます。遺伝子がどのように見えるのか実際に目で見てみましょう。		インフルエンザの薬をデザインしてみよう！ コンピュータ上でインフルエンザウイルスのタンパク質に薬を結合させて、薬をデザインしてみよう。
	おかしなお菓子の薬のひみつ 楽しく薬を飲んでもらうのが薬剤師の願い。おいしいグミ製剤を作ってみよう！またVRで薬剤師を体験しよう		ホルモンが生体内ではたらく仕組みを調べてみよう！ ホルモンは体の中ではたらく化学物質です。細胞を使って、標的となる受容体への影響を調べてみましょう！		くすりの体内での動きを知ろう！ 小動物にくすりを実際に投与して血液中のくすりの濃度を測定し、その変化を解析します。
	病気の成り立ちを顕微鏡で観察してみよう！ 高血圧のモデル動物を使って、正常な状態と病気の状態の違いを顕微鏡を使って観察してみましょう。		青色色素を作ってみよう！ 生活を彩る色素は薬にも使われます。インディゴの合成・染色実験を通し、有機化学の面白さを体験しよう。		くすりの効き方を調べてみよう！ 血糖値を下げるホルモン“インスリン”の分泌に影響を与える薬の効果をマウスで確認してみよう。

● 募集要項

募集人数：高校生 約 70 名（静岡県内の高校に在学し、2日間ともに参加可能な方）
開催期間：令和 7 年 7 月 31 日（木）、8 月 1 日（金）両日とも 9：00～17：00（予定）
開催場所：静岡県立大学薬学部
（静岡市駿河区谷田 52-1 JR 草薙駅から徒歩 約15 分）
参加費用：傷害保険料等として、当日 1,000 円 を申し受けます。
昼食は原則持参をお願いします。
応募方法：下記URL（もしくは右のQRコード）から申し込んでください。
<https://forms.gle/UBjQRTGkswGM2re7>
応募期限：令和 7 年 6 月 27 日（金）
* 応募多数の場合には選考を行います。

● 問い合わせ先

静岡県立大学薬学部
夏休みファーマカレッジ2025事務局（学生室薬学部担当）
〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1
TEL：054-264-5009（直通）
E-mail：gakus2@u-shizuoka-ken.ac.jp

